

成果報告

「和菓子の販売イベント」

清泉大学

人間学部文化学科

目次



01。 イベント概要

02。 あんこで感じる須坂

03。 おはなし会・バリアフリー図書展示会

04。 イベントを通しての学び、気付き

05。 私たちの提案

06。 まとめ

01

イベント概要

開催日時：2025年7月5日(土) 10時から13時

会場：須坂市bota

清泉大学文化学科3年 × 須坂市役所「蔵の町並みキャンパス事業」

あんこで感じる須坂

～みんなでつくる星祭り～

会場 bota (ぼーた)

日時 2025年7月5日(土)

時間 10:00～13:00 (予定)

イベント内容

- 1 須坂の和菓子屋さんが集まって、和菓子売るよ!
- 2 動物園グッズが買えるチャンス! 和菓子を買ってクジをひこう!
- 3 おほしさまに書いてベタッ! みんなで作ろう天の川
- 4 クイズに挑戦して、めざせ須坂博士!

【会場】 須坂市子育て就労総合支援センターbota 須坂市 産業振興部 産業連携開発課
〒382-0077 須坂市北横町1295-1 シルキービル1F TEL: 026-248-9033 (平日8時30分～17時15分)

【お問い合わせ】 須坂市 産業振興部 産業連携開発課
TEL: 026-295-5665 (大学代表)
MAIL: kawakita@u-seisen.ac.jp

あんこで感じる須坂
～みんなでつくる星祭り～

あんこってなあに? おはなし会

おとなの人と一緒に参加してね!

かわいい登場人物たちとっしょに
絵本の「わがし」の世界をみよう!

2025年7月5日(土)

場所 須坂市 bota 時間 11:00-11:30

【お問い合わせ】 清泉大学文化学科 川北研究室(公共政策)
TEL: 026-295-5665 (大学代表)
MAIL: kawakita@u-seisen.ac.jp

【主催】 清泉大学文化学科3年生 学生グループ「あんころもち」

あんこってなあに?
おはなし会

聴いて、触れて、感じる、本の世界

2025年7月5日 [SAT]

10:00 - 10:40 11:40 - 12:15

(10:40から11:40分の間は
読み聞かせイベントのため休止します)

会場：須坂市 bota

【お問い合わせ】 清泉大学文化学科 川北研究室(公共政策)
TEL: 026-295-5665 (大学代表)
MAIL: kawakita@u-seisen.ac.jp

【主催】 清泉大学文化学科3年生 学生グループ「あんころもち」

聴いて、触れて、感じる、
本の世界

01

イベント概要

イベント名	あんこで感じる須坂 ～みんなでつくる星祭り～		あんこってなあに？ おはなし会	バリアフリー図書 展示会
ターゲット	市内の小中学生とその家族		2～5歳	大人
コンセプト	和菓子を親子で 楽しんで みんな笑顔に	須坂市の蔵の町並みを 知ってもらい、 興味を持ってもらう		
目的	和菓子を通じて 須坂市の魅力を 伝える	須坂市の魅力を発見 再確認して貰える 場の提供	和菓子への関心を高め、 市内の和菓子屋さんについて知ってもらう	バリアフリー図書 についての理解を深め、 多様な読書のかたちを 体験してもらう
目標	①売り切ること ②購入者数100人	①須坂市を考える きっかけ作り ②地元のお店のため になる活動		

02。

あんこで感じる須坂 和菓子販売

販売が促進できるような
コンテンツを盛り込む

ターゲット層に喜ばれる
和菓子を選ぶ（&万人ウケ）

どのイベントから参加しても
いいように、他イベントに
繋がられるコンテンツを
盛り込む



- ・割引券の提案・作成
- ・くじ引きの提案・作成

- ・食べやすい甘さ
- ・季節感
- ・和菓子が苦手でも大丈夫

- ・イベントで使用する付箋を配る
- ・おはなし会・バリアフリー
図書展示会パンフレットの設置

02。

あんこで感じる須坂

須坂市の魅力

地元のお店のためになる
活動

須坂市の魅力を知る
きっかけを作る

学芸員課程で学んだことを
活かしてイベントをつくる



- ・ 地域の人達の声を須坂市と和菓子屋さんに伝える内容

- ・ クイズ形式
- ・ 小さい子でもわかる難易度設定
- ・ ボータくんによる解説

- ・ 参加型ワークショップ形式
- ・ 目の引く装飾をつける
- ・ 全員がわかるひらがなの手順書

02. あんこで感じる須坂 イベント内容

和菓子販売

- ・利用者がわかりやすいPOP制作
- ・Cafe bota割引券配布
- ・須坂動物園グッズくじ引き

須坂市の魅力

- ・『目指せ須坂博士！』
須坂に関するクイズを貼り出す
- ・『みんなで作ろう！天の川』
参加型ワークショップにて、須坂の魅力を書いてもらう

02。

当日の様子 和菓子販売



02. あんこで感じる須坂 和菓子販売の制作物

和菓子を紹介するポップ



お店、和菓子の三角柱式の名札



飾り (短冊、折り紙など)、バッジ



くじ引き (箱、ポップ)



02。当日の様子 須坂市の魅力の提示



🌟 須坂市クイズ



🌟 須坂市の魅力を書く
ワークショップ

02。

当日の様子 おはなし会・展示会



02。

当日の成果 和菓子販売

イベントの成果

目標

- ①売り切ること
- ②購入者数100人



①→達成！

②→会計数 91 達成！

02。 当日の成果 須坂市の魅力

イベントの成果

目標

- ①須坂市を考えるきっかけ作り
- ②地元のお店のためになる活動



- ①→老若男女問わずクイズを見てもらうことができた
- ②→実際に和菓子を食べた感想を書き込んでもらうことができた

04. イベントを通しての学び、気づき

1

イベントとして

2

目的に対して

1

イベントとしての学び・気づき

- ・ イベントを実施することの大変さ。考えることの多さ。
- ・ 呼び込みが不十分だった。
イベントにおける広報活動の重要性。
- ・ 他の班との連携の重要性
- ・ 当日のことを想定した準備・役割の設定

2

イベントとしての学び・気づき

【お客様の反応から】

- ・ イベントとしての楽しさは提供できた
- ・ すでに和菓子屋さんを知っている方が多数
- ・ bo-ta自体の集客効果。大きな強み

2

目的に対して

- ・ 提供と引き出しの相互関係で魅力を再確認
- ・ 「楽しいな」から「須坂ってなんかいいな」への種まきに
- ・ 地域の人と須坂市の魅力をつなげることができた

05。

私たちの提案

須坂市の魅力

- ・ 認知度の高い美味しい和菓子屋さんがある
- ・ 重要伝統的建造物群保存地区がある
- ・ 子育て支援が充実している
- ・ 行政と市民の距離が近い

05。

私たちの提案

須坂市の課題

【事前調査での課題】

- ・ 少子高齢化・若年層の和菓子離れ
- ・ 景観・歴史・文化・子育て支援に魅力があるがPR不足

【当日見えた課題】

- ・ 小学生より中高生のほうが和菓子離れしている
- ・ 駅やbota周辺の人通りが少なかった

05。

私たちの提案

1

蔵の町並みキャンパス事業を展開、学生が利用していくこと

2

地元施設との相互協力

1

蔵の町並みキャンパス事業を利用する

- ・ 来年も継続したイベントを行うこと
- ・ 蔵の町並みにより焦点を当てたイベントを開催する
→蔵の街中心のまちづくりが若者が街並みの歴史に興味を持つきっかけになる
- ・ 事業所さんとの伝統野菜を使用した商品開発

2

地元施設との相互協力

botaや須坂市図書館などの地元施設は
地域に根ざした存在



新たな商業施設の誕生により
既存の施設が埋もれるリスク

市外から人が訪れる
チャンス

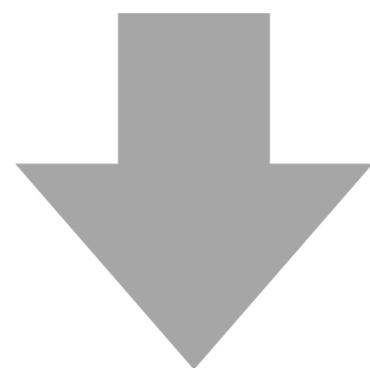
2

地元施設との相互協力

地域資源

商店街・施設・地元企業 etc.

相互協力



魅力を発信

新たな人の流れを生み出す

06 □

まとめ

- ・ イベントを企画・運営することで見えてきたものがあった。
→ 役割分担や宣伝、当日を想定することの重要性。ターゲットに合わせたコンテンツの提供と配慮。
- ・ イベント準備を通して須坂市の魅力を知ることができた。
→ 蔵の町並み、和菓子存在。行政と市民の距離の近さ。
- ・ 新たに見えた須坂市の課題
→ 中高生の和菓子離れ、駅周辺の活気づけ

THANK YOU

